

北部地域産業振興機能に関する提言

令和5年3月

北部地域産業振興機能検討委員会

近年、「急速な少子高齢化の進行」、「グローバル化の進展」、「情報通信技術（ICT）の高度化」など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しており、企業においてはSDGsやカーボンニュートラルへの対応、DXの推進などが求められています。

埼玉県においても、増加を続けてきた人口も間もなく本格的な減少に転じるとともに、後期高齢者は全国で最も速いスピードで増加することが見込まれています。

特に北部地域（熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町）は、新幹線の停車駅があり、高速道路網にも囲まれた交通の要衝であるなど、高いポテンシャルを持つ一方で、人口の減少率が本県全体の減少率の2倍以上となることが推計されており、なかでも20代の転出超過数が多い地域となっています。そのため、魅力ある雇用を創出するとともに、地域を支える産業が持続的に活動できる環境の整備が重要です。

埼玉県では、こうした課題に対応し、北部地域における産業振興ひいては県全体の産業振興を図るため、北部地域振興交流拠点施設（仮称）（以下、「北部拠点」という。）に導入する産業振興機能を検討する北部地域産業振興機能検討委員会（以下、「本委員会」という。）を設置しました。

本委員会では、計4回にわたる会議を開催し、本県及び北部地域の現状・課題等の整理、北部拠点の関係者などへのニーズ調査・分析等の結果を踏まえ、求められる産業振興機能のニーズを明らかにするとともに、北部地域の産業振興機能の基本コンセプト及び導入すべき機能について、各委員の専門的知見をいただきながら議論を重ねてまいりました。

北部拠点が、北部地域の産業振興、ひいては県全体の産業振興につながる産業拠点となるよう本提言がその指針として寄与できることを願っております。

令和5年3月20日

北部地域産業振興機能検討委員会
委員長 山本 聡

目 次

1. 本県及び北部地域の現状・課題等	1
(1) 概要	1
(2) 現状・特徴（「強み」と「弱み」）と取り巻く環境（「機会」と「脅威」）	3
(3) 現状・課題等を踏まえた検討の視点・論点	4
2. ニーズ調査・分析	5
(1) 概要	5
(2) ニーズ調査・分析から得られた現状	7
(3) ニーズ調査・分析から得られた課題、産業振興に対するニーズ	8
3. 提言	9
(1) 産業振興機能の基本コンセプト	9
(2) 産業振興機能の特徴づける基本的方向性	10
(3) 導入すべき産業振興機能	10
(4) 今後の検討にあたって	11
[参考] 北部地域産業振興機能検討委員会について	13
(1) 開催概要	13
(2) 委員名簿	13

1. 本県及び北部地域の現状・課題等

(1) 概要

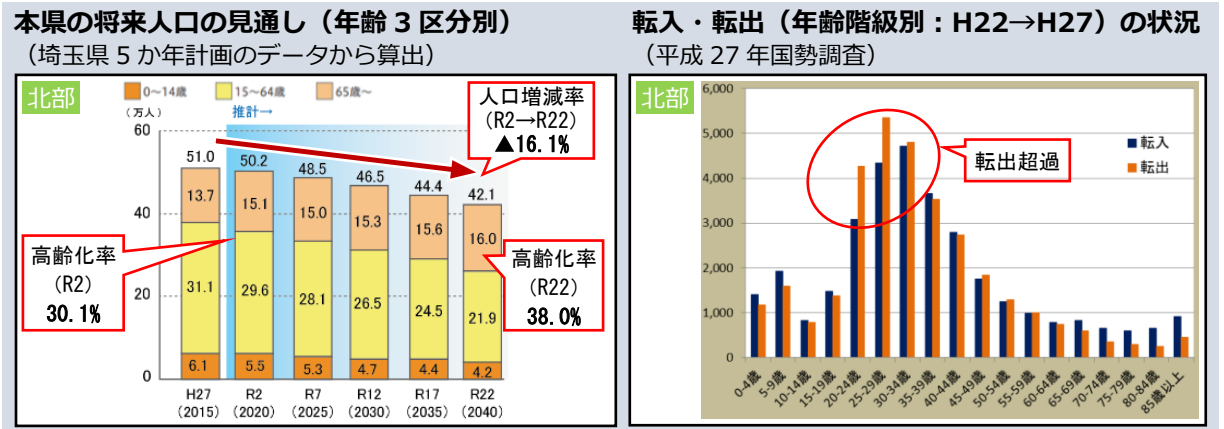
北部拠点の事業予定地が位置する北部地域は、熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町の7市町で構成されています。

北部地域の人口は50.2万人で、県全体の約6.8%となっています(埼玉県5か年計画)。

北部拠点の事業予定地のある熊谷市は、上越・北陸新幹線といった高速鉄道や関越自動車道、圏央道などの高速道路に囲まれた交通の要衝であり、北関東や北陸とのつながりを生かした企業活動など地域活性化に向けた高いポテンシャルを有しています。

① 人口動態

県全体の人口減少率▲6.8%と比べ、北部地域の人口減少率は▲16.1%と高く、人口減少の進行は顕著であり、特に20代を中心とした若者の転出超過が進み、地域の担い手の流出が懸念されます。



② 産業の状況

北部地域では、「製造業」、「卸売業、小売業」の全産業に占める従業者数の割合が高く、雇用の受け皿となっており、特に食品製造業や飲食料点小売業の割合が高く、食品関連産業は多くの付加価値を生み出しています。一方で、事業所数、従業者数は、県全体の減少率よりも大きい傾向となっています。

事業所数及び従業者数 (経済センサス-活動調査(平成28年))

○大分類別の事業所数及び従業者数の構成比

分類	事業所数			従業者数		
	全国	埼玉県	北部	全国	埼玉県	北部
卸売業、小売業	25.4%	23.6%	25.0%	20.8%	21.1%	20.3%
宿泊業、飲食サービス業	13.0%	11.6%	12.1%	9.4%	9.0%	8.4%
建設業	9.2%	10.7%	10.8%	6.5%	6.4%	5.9%
生活関連サービス業、娯楽業	8.8%	9.4%	9.5%	4.3%	4.5%	4.2%
製造業	8.5%	11.1%	9.4%	15.6%	18.0%	24.2%
医療、福祉	8.0%	8.3%	8.5%	13.0%	13.0%	12.9%
全産業の合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○中分類: 卸売業、小売業(上位3業種)の事業所数・従業者数の構成比

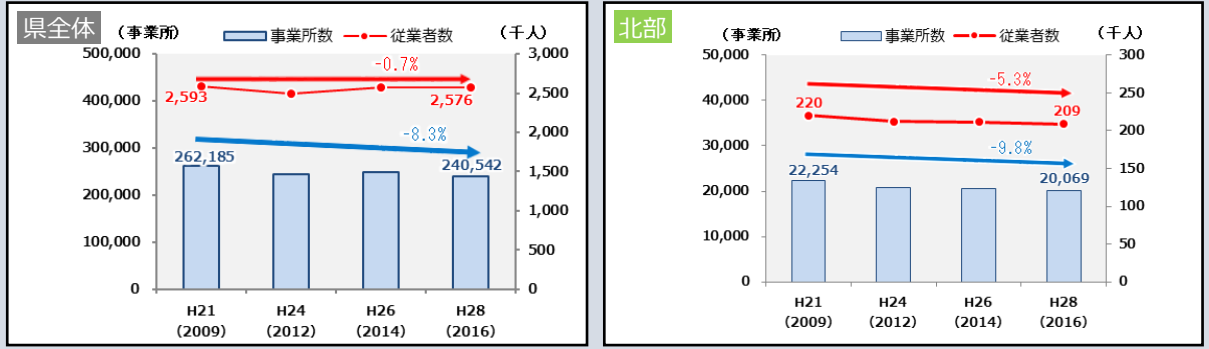
業種	事業所数			従業者数		
	全国	埼玉県	北部地域	全国	埼玉県	北部地域
飲食料点小売業	22.1%	22.7%	22.3%	26.2%	30.9%	30.9%
その他の小売業	27.1%	27.2%	29.2%	20.5%	21.5%	22.6%
機械器具小売業	10.5%	11.4%	12.9%	10.4%	7.9%	9.4%
卸売業、小売業 全18業種の合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○中分類: 製造業(上位3業種)の事業所数・従業者数の構成比

業種	事業所数			従業者数		
	全国	埼玉県	北部地域	全国	埼玉県	北部地域
食品製造業	10.8%	5.6%	11.3%	14.6%	15.3%	14.0%
金属製品製造業	13.1%	16.7%	13.8%	8.0%	9.1%	7.8%
生産用機械器具製造業	8.9%	10.0%	7.0%	7.4%	5.9%	6.7%
製造業 全24業種の合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

事業所数及び従業者数の推移

(経済センサス-基礎調査(平成21年・平成26年)、経済センサス-活動調査(平成24年・平成28年))



③ 農業の状況

北部地域では、農業が盛んであり、県内の野菜・花き・畜産の主要な産地となっています。

農業経営体数と農業産出額 (令和元年)

(農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額(推計)」)

○農業経営体数

部門	農業経営体数(経営体)		
	全国	県	北部
米	714,341 1位	17,738 1位	3,349 1位
野菜	282,543 2位	8,741 2位	3,048 2位
果実	172,528 4位	2,216 4位	318 5位
花き	42,784 6位	1,665 5位	362 4位
畜産	61,209 5位	470 6位	269 6位
その他	237,927 3位	4,750 3位	1,253 3位
合計	1,511,332	35,580	8,599

○主な品目の産出額、産出額の全国順位、県内の主な産地

主な品目	県内の産出額	全国順位	県内の主な産地
米	354億円	18位	県内全域
小麦	9億円	4位	熊谷市、深谷市、行田市、鴻巣市、本庄市
野菜	796億円	8位	-
ねぎ	142億円	2位	深谷市、熊谷市、本庄市、吉川市
ほうれんそう	91億円	1位	入間地域
さといも	49億円	1位	所沢市、狭山市、川越市
ブロッコリー	40億円	3位	深谷市、本庄市
こまつな	39億円	2位	さいたま市、草加市
かぶ	12億円	3位	川越市、富士見市、熊谷市

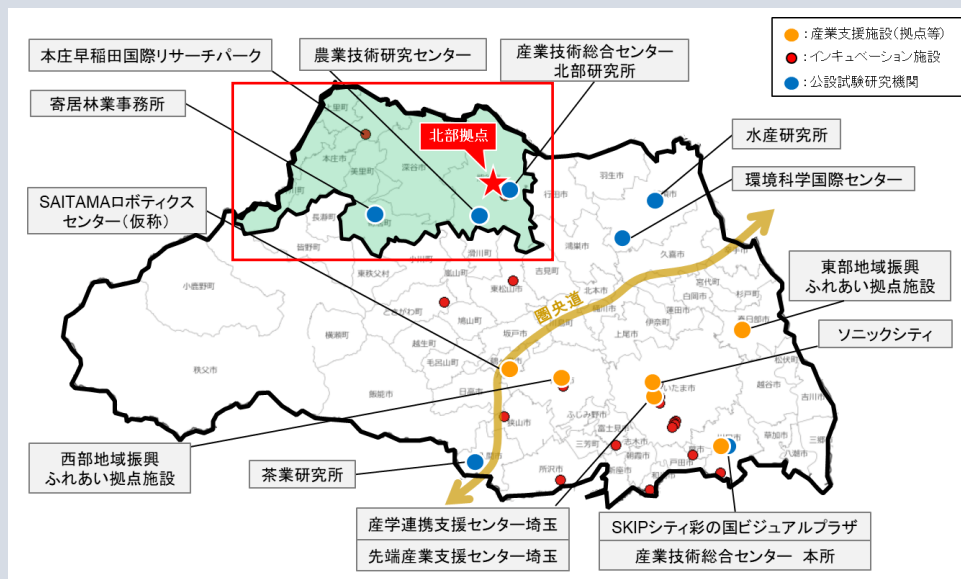
主な品目	県内の産出額	全国順位	県内の主な産地
畜産	249億円	34位	-
採卵鶏	79億円	22位	本庄市、深谷市、寄居町
乳用牛	70億円	24位	深谷市、本庄市、寄居町
肉用牛	36億円	34位	深谷市、上里町、本庄市
豚	56億円	24位	深谷市、加須町、寄居町
花き	152億円	5位	-
洋ラン(鉢)	31億円	2位	県内全域
ゆり	25億円	3位	深谷市
パンジー	5億円	1位	川越市、鴻巣市
チューリップ(切り花)	3億円	2位	深谷市

※資料:「2021年埼玉の食料・農林業・農山村」より作成
※主な産地は「JAグループさいたま」ホームページより記載(ただし、畜産は産出額上位3市町)

④ 主な産業支援施設等

本県の産業支援機関等は、圏央道以南に集中しており、特に、北部地域ではインキュベーション施設が少ない状況です。

本県の主な産業支援機関等の位置図



- (2) 現状・特徴（「強み」と「弱み」）と取り巻く環境（「機会」と「脅威」）
 人口動態や産業の状況等をもとに、本県及び北部地域の現状・特徴として「強み」と「弱み」、取り巻く環境として「機会」と「脅威」について、以下のとおり整理しました。

		プラス要因		マイナス要因	
現状・特徴	強み	<p style="text-align: center;">— 県全体・北部地域 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 食品関連産業が盛ん ◇ 地場産業や伝統産業（歴史・風土、生活文化） ◇ 特色ある地域農業と多彩な農産物 ◇ 都心からアクセスしやすい観光地 ◇ 全国有数のスポーツチーム ◇ 幅広い業種の製造業（雇用、付加価値） <p style="text-align: center;">— 県全体 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 国内外とつながる交通の要衝 <p style="text-align: center;">— 北部地域 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 北関東・北陸とのつながり ◇ 公設試験研究機関、大学等の充実 		<p style="text-align: center;">— 県全体・北部地域 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 事業所数の減少傾向 ◇ 労働生産性（一人当たり付加価値額）の低さ <p style="text-align: center;">— 北部地域 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 人口減少・高齢化の進行が顕著 ◇ 若者の転出超過（さいたま市・都内等） ◇ 従業者数の減少が顕著 	
	取り巻く環境	機会	<p style="text-align: center;">— 県全体 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 埼玉農産物のブランド化の推進 ◇ スポーツ関連産業の成長を後押し <p style="text-align: center;">— 北部地域 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 観光業とも連携したスポーツ関連産業の活性化の期待 		<p style="text-align: center;">— 県全体 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 長期的な経済停滞による雇用や企業活動への影響 ◇ 「肩車型社会」の到来 <p style="text-align: center;">— 北部地域 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 担い手の減少 ◇ 中心市街地の空洞化、商店等の減少（集客力、利便性の低下の懸念）

(3) 現状・課題等を踏まえた検討の視点・論点

(2) の「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」を踏まえ、北部拠点の産業振興機能の検討における視点及び論点を以下のとおり整理しました。

視点1	産業の振興
論点①：地域の経済を支える担い手の発掘	
<ul style="list-style-type: none">産業の担い手の確保が喫緊の課題（事業継続、地域経済維持） → 地域で活躍する人や企業の発掘	
論点②：県内外企業との連携	
<ul style="list-style-type: none">立地上のポテンシャル（幅広い業種の製造業の立地、北関東とのつながり） → 北部地域の範囲を超えた県内外企業との連携	
論点③：北部地域の特色を生かした産業振興の促進	
<ul style="list-style-type: none">特色ある地場産業が豊富（農業や食品関連産業など）雇用の受け皿となっている多様な製造業（労働生産性は低い状況） → 生産性向上と高付加価値化【中小企業等の成長・事業拡大のきっかけ】 → チャレンジする中小企業等を後押し【既存の公的研究支援機関等のノウハウを生かす】	
視点2	地域の振興
論点④：拠点整備効果の地域への波及	
<ul style="list-style-type: none">都心近郊の観光地としての強みスポーツ関連産業の取組が盛ん → 地域に愛される拠点とする【産業振興と地域振興の双方の観点】	
視点3	社会課題への対応
論点⑤：社会課題の変化に対応できる県内企業の育成	
<ul style="list-style-type: none">新たな社会課題に取り組むことが求められる（SDGs やカーボンニュートラルなど） → 日々変化する社会課題やニーズ変化への対応 → 既存の産業分野の枠にとらわれない分野横断型の取組	

2. ニーズ調査・分析

(1) 概要

埼玉県では、北部地域に導入すべき産業振興機能を検討する上での参考とするために、施設を利用する立場（企業）や支援する立場（商工団体・金融機関等）などから見たニーズについて、アンケート・ヒアリング調査を実施しました。

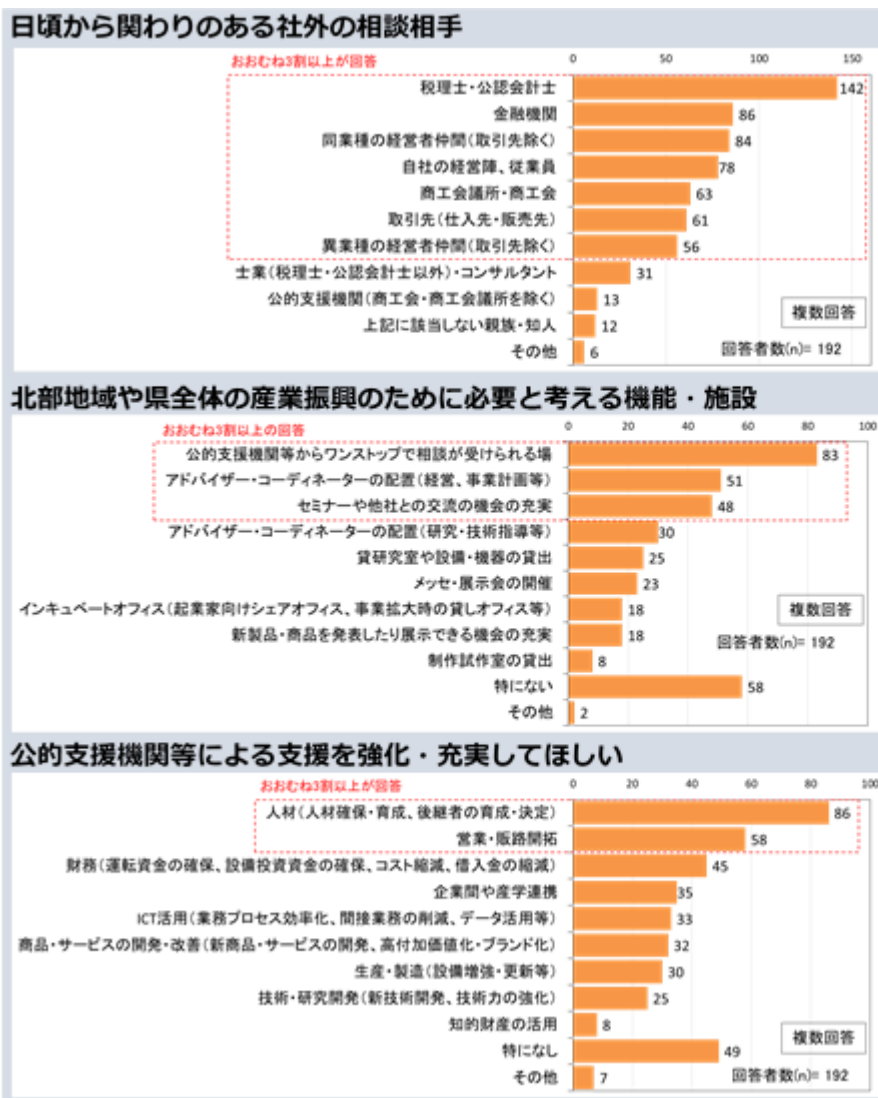
① 施設を利用する立場（企業）

日頃から関わりのある社外の相談相手として、税理士・公認会計士、金融機関などであるとの回答が多く、公的支援機関であるとする回答は少ない状況です。

一方で、産業振興のために必要と考える機能や施設としては、「公的支援機関等からワンストップで相談を受けられる場」や「経営等に関するアドバイザー・コーディネーターの配置」などが必要であるとの回答が多くなっています。

ヒアリング調査では、知財相談など経営に関する窓口が身近な場所になく、いざという時にアクセスに難があるなどの意見がありました。

また、公的支援機関等による支援を強化・充実してほしい分野として、「人材確保・育成などの担い手支援」が最も多い回答となっています。



ヒアリング調査

「顔が見える調査」より

- 知財相談などの窓口が無く、アクセスに難があることが課題
- 各工程で産業技術総合センター北部研究所に検査を依頼



- アイデアを出し合う「交流」機能などがまとまった拠点になってほしい
- 人材交流、ビジネスマッチング、集団面接、就職フェアが風通し良く、頻繁に開催できる拠点が欲しい



- 人が増えない、集まりにくい状況で、人材の確保に苦慮
- 女性のキャリアが失われないような支援をしてもらいたい

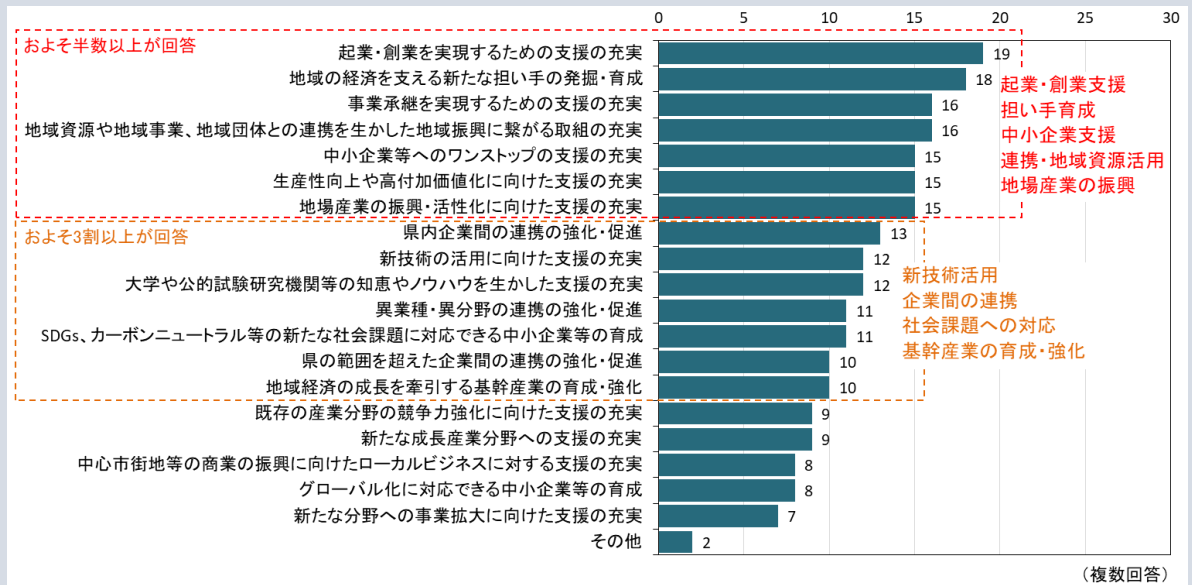


② 支援する立場（商工団体、金融機関、産業支援機関、大学等）

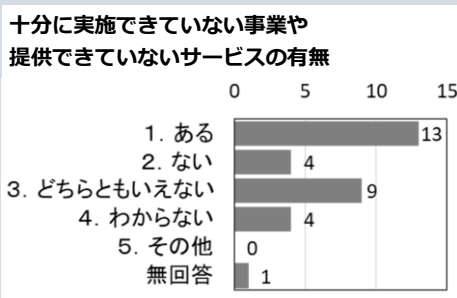
北部拠点の整備に当たり、特に期待度が高いものとして「起業・創業を実現するための支援」や「担い手育成」、「中小企業支援」、「地場産業の振興」等の回答が多くなっています。

また、支援ニーズはあるものの十分に提供できていない支援として、「担い手の確保・育成」や「技術支援」などが挙げられています。

北部拠点の整備に期待すること（複数回答）



支援ニーズは多いものの、十分に実施できていない事業や提供できていないサービスはあるか



【具体的な内容】

- ・ 人材確保・事業承継、販路拡大、新規顧客獲得支援、マッチング
- ・ 支援機関等のノウハウ活用（専門家の派遣、物産施設の運営ノウハウ）
- ・ 機器や専門知識等を有していない技術支援ニーズへの対応
- ・ アイディアを試す場
- ・ 農地活用（農業の担い手確保、高齢化への対応）
- ・ 加工に関する技術相談、実験施設の設置

(2) ニーズ調査・分析から得られた現状

ニーズ調査・分析の結果を踏まえ、企業や商工団体・金融機関等のそれぞれの立場から、北部拠点の整備に期待すること等を、以下のとおり整理しました。

① 企業（施設を利用する立場）

【公的支援機関の利用状況】

- ・ 現状では公的支援機関への相談は少ない

【北部拠点の整備に期待すること】

- ・ 公的支援機関等への相談の場
- ・ アドバイザー・コーディネーターの配置
- ・ セミナーや他社との交流の機会の充実 など

【求める支援】

- ・ 人材の確保・育成
- ・ 企業等とのマッチング
- ・ ICT活用への助言

② 商工団体・金融機関等（支援する立場）

【支援実績の多い業種】

- ・ 製造業、建設業、卸売業・小売業

【支援ニーズはあるが十分に実施できていない支援】

- ・ 担い手の育成・確保
- ・ 企業間のマッチング
- ・ 技術支援

【今後の支援ニーズ】

- ・ DXやカーボンニュートラルなど新たな課題への対応

【北部拠点の整備に期待すること】

- ・ 起業・創業支援
- ・ 担い手の育成
- ・ 中小企業支援
- ・ 地場産業の振興

(3) ニーズ調査・分析から得られた課題、産業振興に対するニーズ

(2) を踏まえ、以下のとおり産業振興に係る県全体及び北部地域の課題、ニーズを整理しました。

県全体 の課題	北部地域 の課題
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 企業間や産学官連携等に関する分野への支援 ◆ 新たな課題に対応するための「企業支援の充実」 ◆ 支援機関のノウハウの有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日々変化する企業等のニーズや社会課題への対応 ◆ 人材育成や事業承継など地域の産業の「担い手確保」 ◆ 流出人口の増加などによる「中心市街地の空洞化」 ◆ 「公的支援機関等からの相談の場」などの不足

「視点1 産業の振興」に対するニーズ

- ◇ 起業・創業を実現するための支援
- ◇ 担い手の発掘・育成
- ◇ 支援体制の充実
- ◇ 地場産業の振興
- ◇ 連携・交流の促進

「視点2 地域の振興」に対するニーズ

- ◇ 地域資源を活用した産業振興
- ◇ 連携を生み出すための交流機会の確保
- ◇ 地場産業×地域振興の取組

「視点3 社会課題への対応」に係るニーズ

- ◇ 大学や公的支援機関のノウハウ活用
- ◇ 新技術の活用に対する支援の充実
- ◇ 新たな取組展開に向けた実践の場

3. 提言

本委員会では、「1. 本県及び北部地域の現状・課題等」、「2. ニーズ調査・分析」のほか、本県の先行する産業支援拠点（東部及び西部地域振興ふれあい拠点）や他自治体の先進的な取組事例の調査・分析結果をもとに、議論を重ねてまいりました。

これまでの検討内容を踏まえ、北部地域振興交流拠点施設（仮称）の基本コンセプト及び導入すべき機能等について、次の(1)～(3)のとおり提言します。

(1) 産業振興機能の基本コンセプト

基本 コンセプト	多彩な『つながり』を生み、持続可能な未来を拓く産業拠点 ～チャレンジの種が芽吹き、実を結び、社会を彩る～
---------------------	---

本委員会では、以下のようなキーワードやターゲットに関する意見が示されたことを踏まえ、上記の基本コンセプトを採用しました。

キ ー ワ ー ド	人	様々な人（起業家、企業、住民、支援機関）
	交わる	人と人、企業と企業、地域と人（企業）
	つながる	新たな知識やアイデアを得られる場や機会、オープンイノベーションを生む仕掛け
	根づく	地域に根づいた経済活動、事業活動が生まれ、継続する（育まれる）、定住の促進
	拓く	北部地域、ひいては県全体の発展に寄与する
	持続可能	産業構造の変化に柔軟に対応、サステナブルな社会

ターゲット	「中小企業」「地場産業」「地域の起業家」「若者」「女性」「シニア」
-------	-----------------------------------

「多彩な『つながり』」とは、起業家と支援機関、人（企業）と人（企業）、産学官連携などの様々なつながりを生むことを表現しています。

「持続可能な未来を拓く」とは、産業の担い手確保や新たな社会課題に対応できる企業の育成、イノベーションの創出等により、変化する社会に対応し、サステナブルな社会の実現に貢献することを表現しています。

また、人や企業のチャレンジを後押しすることで、新たな取組や事業が芽生え、人や企業が地域に根づくとともに、つながりや知恵、学び、創意工夫がカタチとなり、様々なチャレンジが実を結ぶことを期待しています。さらに、北部地域、ひいては埼玉県全体、社会全体を彩る産業が育まれることを期待し、サブコンセプトとして「～チャレンジの種が芽吹き、実を結び、社会を彩る～」を採用しました。

(2) 産業振興機能の特徴づける基本的方向性

県全体及び北部地域の現状・課題、本委員会での意見を踏まえ、産業振興機能の特徴づける基本的方向性を次のとおりとしました。

① 県全体

時代の潮流に対応できる企業や人材の育成

(例)

- ▶ 5Gやメタバースなどデジタル技術の活用、DX
- ▶ 地域資源を活用した観光振興

② 北部地域

北部地域の強みを生かした産業振興

(例)

- ▶ 食品関連分野（農業や食の分野との連携）
- ▶ 電子部品、非鉄金属、電気機械器具など製造業分野

(3) 導入すべき産業振興機能

基本コンセプトの実現に向けて、導入すべき産業振興機能を次のとおりとし、11～12頁のとおり、モデルプランを整理しました。

導入すべき機能	導入施設の例
<p>創業支援機能</p> <p>○創業・起業のための様々なニーズへの対応</p> <p>①創業・起業の支援、新たな事業化の支援</p> <p>②創業者・起業家のコミュニケーション促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーション施設（起業家向け及び研究開発型） ・創業・起業等相談室 ・起業家同士や地域と企業が交流するコミュニティ支援機能 ・チャレンジショップ・シェアキッチン
<p>人材育成機能</p> <p>○地域の産業を支える担い手の育成</p> <p>①地域で働き・学ぶ人の支援・育成（リカレントなどの学び直しを含む）</p> <p>②伝統産業の技術承継や人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・研修室 ・会議室・ミーティングルーム ・フリースペース（仕事、学習等） ・コワーキングスペース ・ビジネス支援室（商用データベース閲覧等） ・地域の産業の担い手育成支援施設 ・伝統産業の技術継承、訓練を行う施設
<p>研究開発・経営支援機能</p> <p>○企業の事業活動に対するワンストップ支援</p> <p>①公的支援機関による経営支援</p> <p>②研究開発・経営に関する支援</p> <p>③新製品・新商品の開発支援</p> <p>④他企業・異分野・異業種との連携支援</p> <p>～オープンイノベーションの促進～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関の支援窓口 ・技術・経営相談室 ・研究開発・技術指導室 ・共同研究・開発スペース
<p>交流促進・情報発信機能</p> <p>○人・企業・地域のコミュニケーションを活性化する支援</p> <p>①交流の促進</p> <p>②人・企業・地域に関する情報の発信</p> <p>③地域の産業の体験・学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションホール ・コミュニティラウンジ・交流サロン ・情報発信スペース ・展示・ギャラリースペース ・オープンスペース（屋内外の交流スペース） ・伝統産業など地域の産業に関する体験施設

導入すべき機能に対応した導入施設の例をモデルプランとして整理しました。

企業等からのニーズが高く、先行して整備している東部及び西部地域振興ふれあい拠点施設にも整備され利用率が高い機能を備えたプランをベースプランとしています。

施設をより充実させるために機能を付加したプランとして、Aプラン、Bプラン、Cプランの3プランに整理しています。

各プランの概要は以下のとおりです。

なお、前頁の「導入施設の例」では、Bプランの機能を記載しています。

ベースプラン	基本コンセプトの実現に寄与する機能のうち、企業等からのニーズが高く、先行の東部及び西部地域振興ふれあい拠点施設にも整備され利用率が高い機能を盛り込んだプランとしています。
Aプラン	ベースプランに、ニーズ調査や本委員会での意見のあった「交流促進機能」などを付加したプランです。
Bプラン	Aプランに、チャレンジしたい人や企業を後押しする機能や、担い手育成、地域の産業の体験施設などを付加したプランです。
Cプラン	Bプランに、他の自治体の先進事例で導入されている機能で、かつ、基本コンセプトの実現に寄与することが期待できる機能を付加したプランです。

(4) 今後の検討にあたって

北部拠点に係る産業振興機能についての提言は(1)～(3)のとおりですが、提言にある産業振興の基本コンセプトや導入すべき機能を存分に生かし、拠点の機能を有機的かつ柔軟に動かしていくためには、機能を動かす組織や人も重要です。

加えて、時代の潮流に柔軟に対応し、持続可能な産業を育む拠点の整備には、「インクルーシブ」の視点を踏まえるとともに、5G、メタバースなどデジタル技術の活用が必要です。

また、拠点施設全体の機能を検討する段階では、産業振興の効果をより実践的に高めていくとともに地域の活性化を図るため、「シビックコア」の視点でその他の行政機能と連携した拠点の形成について検討することが大切との考えも示されました。

北部拠点の整備後もその機能が最大限発揮できるように検討を進め、産業振興の実現に努めていただきたいと思います。

■モデルプランの整理

導入すべき機能		ベースプラン (基本機能)	モデルプラン (充実させる機能)		
			Aプラン	Bプラン	Cプラン
			ベースプランに、「交流促進機能」などを付加したプラン	Aプランに、チャレンジしたい人や企業を後押しする機能や、担い手育成機能を付加したプラン	Bプランに、先進事例で導入されている機能で、基本コンセプトの実現に寄与する機能を付加したプラン
a. 創業支援機能	①創業・起業の支援、新たな事業化の支援	創業家向けインキュベーション施設 (貸オフィス) 創業・起業等相談室 (インキュベーション・マネージャーの配置)		研究開発型インキュベーション施設 (貸研究室) チャレンジショップ、シェアキッチン	クリエイター向けインキュベーション施設 (貸オフィス)
	②創業者・起業家のコミュニケーション促進		起業家同士や地域と企業が交流するコミュニティ支援機能 (コミュニティ・マネージャーの配置)		
b. 人材育成機能	①地域で働き・学ぶ人の支援・育成	セミナー・研修室、会議室・ミーティングルーム フリースペース (無料・自由利用: 仕事、学習、ミーティング等)	コワーキングスペース・シェアオフィス (会員制&ドロップイン)	ビジネス支援室 (商用データベースの閲覧等)	キャリア開発型シェアハウス
	②伝統産業の技術承継や人材育成			地域の産業の担い手育成支援施設 伝統産業の技術継承、訓練を行う施設 (地場産業の担い手育成支援)	
c. 研究開発・経営支援機能	①公的支援機関による経営支援	各機関の支援窓口の設置			
	②研究開発・経営に関する支援		技術・経営相談室 (専門スタッフ・研究員等の配置)		
	③新製品・新商品の開発支援				試作加工室 最先端の研究開発機器の導入 農産物加工施設 (6次産業化支援)
	④他企業・異分野・異業種との連携支援 ～オープンイノベーションの促進～			共同研究・開発スペース	大学・研究機関等のサテライト拠点 リビングラボ (住民参加型の新商品・サービスの実証研究・開発)
d. 交流促進・情報発信機能	①交流の促進	コンベンションホール	コミュニティラウンジ・交流サロン (日常的な交流、ピッチイベント等イベントスペース)	オープンスペース (屋内外の交流スペース)	
	②人・企業・地域に関する情報の発信	情報発信スペース (デジタルサイネージ等)	展示・ギャラリースペース (地域の企業の新製品・商品の展示)		
	③地域の産業の体験・学習				ものづくり体験・交流スペース (遊びながら学び、体験) 伝統産業など地域の産業に関する体験施設 (子ども～大人まで)
e. その他の複合機能	①産業支援機能と相乗効果の発揮	民間機能 (飲食・物販、スポーツ・健康づくり関連の施設等) 公共機能 (その他の行政機能等)	地域活動等支援スペース	観光・物産施設 (展示、販売等)	地産地消レストラン・カフェ

[参考] 北部地域産業振興機能検討委員会について

(1) 開催概要

回	開催日・場所	主な議題
第1回	令和4年 8月4日(木) 熊谷市役所	1 事業の概要 2 検討委員会の進め方 3 中間報告① 調査業務 (1) 北部地域の現状・課題等の整理 (2) 東部及び西部地域振興ふれあい拠点施設の整備効果の調査・分析 (3) 先進的な取組事例の紹介 4 現地視察
第2回	令和4年 10月20日(木) 埼玉会館	1 中間報告② 調査業務 (1) 第1回3(1)・(2)の報告 (2) 先進的な取組事例の調査・分析 (3) 北部地域に導入する産業振興機能に関するニーズの調査・分析① 2 北部地域に導入する産業振興機能の基本コンセプト 及び導入すべき機能に関するブレインストーミング
第3回	令和5年 1月12日(木) 埼玉会館	1 北部拠点における産業振興の基本コンセプト・導入すべき機能の検討 2 検討委員会提言案の検討
第4回	令和5年 3月20日(月) 書面開催	1 検討委員会提言案の決定

(2) 委員名簿

	氏名	所属等
委員長	山本 聡	東洋大学 経営学部経営学科 教授
委員	伊藤 匡美	亜細亜大学 経営学部経営学科 教授
委員	長谷川 誠	株式会社富士通総研 公共デジタル戦略グループ マネジングコンサルタント 兼 公共政策研究センター 主任研究員
委員	吉田 育代	株式会社日本経済研究所 常務執行役員 公共デザイン本部兼公共マネジメント本部 上席研究主幹
委員	大久保 和政	熊谷商工会議所 会頭
委員	荻野 秀夫	熊谷市 総合政策部長
委員	野尻 一敏	埼玉県 産業労働部 副部長